

別 記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 31日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県大津市浜町1番38号

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
株式会社 滋賀銀行
取締役頭取 久保田 真也

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、事業者行動計画を策定(変更)したもので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社 滋賀銀行 取締役頭取 久保田 真也
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県大津市浜町1番38号

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社滋賀銀行 本店					
事業所の所在地	滋賀県大津市浜町1番38号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	6	2	2	1	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	金融業					
従業員の数	1,875	人	作業時間	8 (8:45-17:15)	時間/日	
該当する事業者の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☒ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	12	台
	コンプレッサ	0	台	空気調和設備	282	台
				照明設備	8646	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2024	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2028	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

【サステナビリティ方針】

当行は「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」を原点とするCSR憲章(経営理念)の実践を通じて企業価値の向上を目指すとともに、地域との共創により持続可能な社会の実現に貢献します。

- (1) マテリアリティ(重要課題)の特定と事業活動を通じた地域の課題解決
- (2) 事業活動による社会的インパクトを重視した経営
- (3) 地球環境の保全・再生に資するビジネスモデルの確立
- (4) 人権の尊重と社会との信頼関係の構築
- (5) 自ら考え行動できる人材の育成と職場環境の整備

【環境方針】 ～地域社会の持続可能な未来を目指して～

当行は、「未来からの預かりもの」である琵琶湖を擁する滋賀県の地元銀行として、ESG金融の推進により持続可能な地域社会づくりに貢献するとともに、「お金の流れで地球環境を守る」との気概で、「気候危機への対応」および「生物多様性保全」に向けた取り組みを進めていきます。

- (1) 事業活動を通じた地球環境保全
- (2) 環境負荷低減への取り組み
- (3) 環境関連法規等の遵守
- (4) ガバナンス・マネジメント体制
- (5) 全員参加と情報開示

【サステナブルな社会の実現に向けた投融資方針】

当行は、「サステナビリティ方針」に基づき、事業活動が生み出す社会的インパクトを重視した経営のもと、ポジティブ・インパクトを拡大し、ネガティブ・インパクトの軽減・回避に努め、地域の持続可能な発展に資する投融資を行っています。

ポジティブ・インパクトの拡大に資する投融資への取組方針

特に積極的に投融資を推進していく取り組み

- (1) 地域社会の課題解決や産業活性化など、地域社会の持続可能性に資する取り組み
- (2) 琵琶湖を取り囲む森・里・川の保全を含めた、水資源や生物多様性の保全に資する取り組み
- (3) 脱炭素社会への移行を展望した、気候変動の緩和や適応に資する取り組み

ネガティブ・インパクトを包含する可能性のある投融資への取組方針

- (1) セクター横断的な考え方

次に該当する事業に対する投融資は行いません。

① 琵琶湖などのラムサール条約指定湿地、ユネスコ指定世界遺産、ワシントン条約の規制対象種のように、国際的に保護・保全が求められている人類の財産に重大な悪影響を及ぼす事業

② 児童労働、強制労働、人身取引などの人権侵害を引き起こしたり、行っている事業

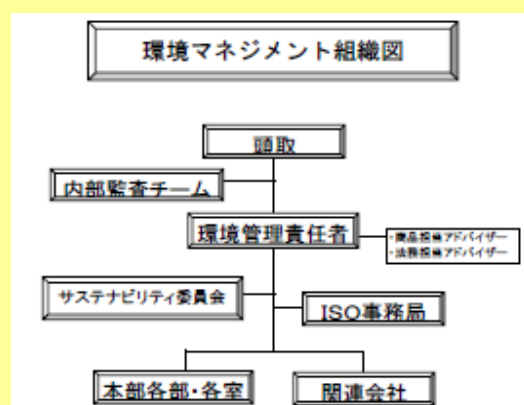
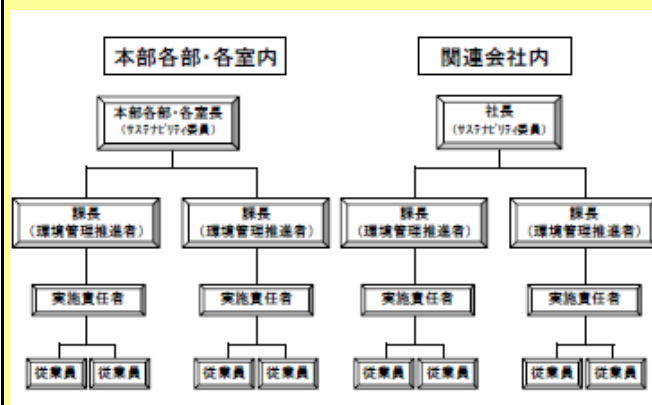
- (2) 特定セクターに対する対応方針

次に該当する事業には投融資を行わない、もしくは慎重に判断します。

① 人道的兵器製造、② 石炭火力発電所、③ パーム油農園開発、④ 森林伐採

2 取組の推進体制

- ・エネルギー管理統括者 総合企画部担当役員
- ・エネルギー管理企画推進者 総合企画部サステナブル戦略室長
- ・エネルギー管理員 総務部担当者

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・2008年6月に「エコ・ファーストの約束」を環境大臣と約束。全国で第7号、金融業界初の「エコ・ファースト企業」の認定を受ける
- ・1994年より行内に紙資源リサイクルシステムを設置し、2018年度は482tの紙資源をリサイクル。リサイクル率は99.8%
- ・2004年にCSR委員会並びにCSR室を設置し、環境経営を実践
- ・2005年より「エコスタイル」を開始し、夏季28℃、冬季19℃に室内温度を設定し徹底
- ・2007年に「CSR憲章」を制定。地球環境との共存共栄を実践

- ・2007年に「エコメール」を導入
- ・2008年より「ヨシ紙名刺」を導入。ヨシ群落を守り、育てる活動から、ヨシを活用するステージへステップアップ
- ・2008年浜町研修センターに環境関連設備を導入。「CASBEE」Sランクを取得
- ・2010年に「環境方針」を改定。「生物多様性保全方針」を制定
- ・2014年に温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル店舗」として栗東支店オープン
- ・2019年6月に「エコ・ファーストの約束」を更新。環境大臣に提出
- ・2020年にPRB(責任銀行原則)に署名
- ・2020年に「サステナビリティ方針」を制定、「環境方針」を改定
- ・2020年にCSR委員会を「サステナビリティ委員会」に改組
- ・2020年に『しがぎん』サステナビリティ・リンク・ローン」取扱開始
- ・2021年に『しがぎん』サステナビリティ・リンク・ローン しがCO2ネットゼロ” プラン」取扱開始
- ・2021年に「カーボンニュートラルローン未来よし」取扱開始
- ・2022年に燃料電池自動車「MIRAI」を導入
- ・2022年3月に本店敷地内で使用する電力をCO2フリー電気に切替
- ・2023年1月にCO2排出量管理ツール「未来よしサポート」を開発・導入
- ・2023年4月に「スーパー住宅ローン『未来よし』」取扱開始
- ・2024年4月に株式会社しがぎんエナジーを設立

(1)省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」

- ・空調機、照明設備、OA機器の更新により電力使用量削減
- ・店舗新築の際には「太陽光発電システム」「ソーラー街路灯」「LED照明」「雨水利用」「屋上緑化」などを設置
- ・公用車、バイクを環境対応車に切り替え
- ・グリーン購入の推進
- ・本店敷地内で使用する電力をCO2フリー電気に切替

(2)環境対応型金融商品・サービスの開発、提供による環境金融の働きかけ

- ・エコプラス定期で紙資源の削減を図るとともに、環境学習の実践の場となる学校ビオトープを35校に助成(2016年度まで)
- ・「カーボンニュートラルローン未来よし」などの環境融資でお客様の脱炭素の取り組みを促進

(3)株式会社しがぎんエナジーによる脱炭素ビジネスの展開

- ・環境価値の創出販売・仲介業務
- ・企業の脱炭素化支援
- ・オンサイトPPA
- ・既存発電所を取得
- ・リサイクルプラントの実施

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	夏季・冬季のエコスタイル、空調温度の設定(夏季28℃、冬季19℃)、照明間引き、OA機器類節電(輝度設定、離席時の電源オフ、スタンバイ設定)、早帰りの励行等、エコオフィスづくりを実施。温室効果ガス排出量削減を経営計画に盛り込み、高い意識で取り組む。	2024-2028年度	
2	設備導入	本部、本支店・出張所等の空調機、照明設備の更新	2024-2028年度	
3	設備導入	ATM・イントラパソコンの更新	2024-2028年度	
4	設備導入	公用車・バイクの環境対応車への切り替え	2024-2028年度	
5	設備導入	再生可能エネルギーへの切り替え	2024-2028年度	

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
【数値目標】 第8次中期経営計画(2024年度～2028年度) カーボンニュートラル社会の実現に向けたGHG排出量削減(scope1,2) ⇒2029年3月までにネットゼロ達成 グループ全体の実績 2013年度排出量 9,245t(基準年) 2021年度排出量 5,354t(42.08%削減) 2022年度排出量 3,069t(66.80%削減) 2023年度排出量 3,799t(58.90%削減) 【計画内容】 環境金融商品、ボランティア活動、クレジット購入、EV・HV車両や環境設備への切り替え等を通して排出量削減を行う。	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の 実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー 使用量	kL	1,417					
温室効果ガス 総排出量	t-CO ₂	1,693					
エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂	1,693					
非エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推 移							

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	店舗の新築または増改築時における太陽光パネルの設置	2028年まで	
2	子会社(株式会社しがぎんエナジー)による太陽光発電事業の拡大	2028年まで	
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	2029年3月までにネットゼロ達成に向けて、グループ内の再エネ調達を進める。
2	営業車のハイブリッド自動車への切替を進める。
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	4	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ()		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	4,802					
上記のうち自家消費量	kWh						

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
・SDGs私募債(未来よし+プラン) ・脱炭素貢献目標を掲げる「サステナビリティ・リンク・ローン」 ・脱炭素貢献目標を掲げる「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」 ・脱炭素に資する資金使途の「グリーンローン(ボンド)」 ・脱炭素関連目標を掲げる「サステナブル評価融資」 ・スーパー住宅ローン未来よし ・カーボンニュートラルローン未来よし ・未来よしサポート ・再生可能エネルギー関連のプロジェクト向け投融资	
	CO ₂ 削減貢献量
	t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
地域や社会の持続可能性を高めるサステナブルファイナンス実行額
【達成目標】 ・期間累計7,000億円(温室効果ガス削減に資するファイナンスを含む)
【社会のサステナビリティ】 ・世界、日本、地域におけるGHG排出量の削減
【当行のサステナビリティ】 ・地域の取引先や地域社会のサステナビリティ向上に伴う、当行の経営基盤・収益基盤の強化ESGへの取り組み強化

目標および目標設定の考え方

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	1,693					
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	1,693					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.000					
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	
1	公共交通機関 の利用促進	エコ通勤の実施	2024年～	
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	421					
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	167					
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施スケジュール	
1	SDGs	地球温暖化問題の解決と持続可能な社会を実現するために、森づくりサポート活動などのSDGsボランティア活動を実施しています。	2024年～	
2	環境マネジメントシステム(EMS)	当行独自の環境マネジメントシステムを運用し、しがぎんグループで働くすべての人が環境について考え行動するため実施しています。	2024年～	
3				
4				
5				